

# ゆとり運転“55運動”とは

交通事故を起こせば、個人はもとより家庭・企業に及ぼす法的・社会的責任は計り知れないものがあります。

安全で円滑な道路交通を実現するため、家庭、企業等では安全管理に努めなければなりません。

「ゆとり運転“55運動”」は、いつもより（予定より）5分早く出発し、5キロ減速した走行を実践することで、心と時間にゆとりが生まれ、また万一の場合には、制動距離の短縮にもつながることから、交通事故の発生を防ぎ、あるいは衝撃をより減少させることができることを広く県民に周知しようとするものです。

## 1 推進開始

平成 26 年 7 月から実施

## 2 推進内容

広く県民に、本運動の趣旨及び効果を呼びかけるなど、本運動の気運を高めるための活動を、それぞれの組織が主体となって取り組みます。

具体的には、

- 車両等への本運動用ステッカーの貼付
- 内外への本運動用チラシ等の掲示
- 朝礼等での従業員へ周知と実践

等を行います。

## 3 参考資料

### ○ 5 km/h の違い（所要時間）

5 km/h 減速しても、50 キロメートル先に到着する時間は 5 分しか変わりません。

	10 km	20 km	30 km	40 km	50 km	60 km	70 km	80 km	90 km	100 km
55 km/h	11分	22分	33分	44分	55分	65分	76分	87分	98分	109分
60 km/h	10分	20分	30分	40分	50分	60分	70分	80分	90分	100分

### ○ 5 km/h の違い（停止距離）

同じ位置からブレーキをかけた場合の停止距離は、55km/h では 27.1m、60km/h では 31.0m で、その差は 3.9m（軽四 1 台分）もあります。

